

～しながわデータヘルス計画の推進～

保健医療関係者との連携・協力について



品川区 健康推進部 国保医療年金課
保健指導係 保健師 崎村 詩織

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

品川区の概要



あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

品川区の国保の現状

人口 約38万人

国保加入者 約8万5千人

特定健診対象者 約6万人



実施体制（国保医療年金課保健指導係）

事務係長1名、事務（再任用）1名、保健師1名、
非常勤事務（週3）1名



H27 協働でデータヘルス計画策定

保健医療機関とデータヘルス策定委員会を組織し計画策定



本取り組みが業界誌に掲載されました



出典：法研「へるすあっぷ21（2016年2月号）」



品川区国保における協働のスタート

最初は、医師会や健診担当理事、医療機関との
トラブルは多々あった・・・事業が増えるほどトラブルもUP

- ➡トラブルの解決を迅速に、誠意を見せること
トラブルをきっかけに先生方の意見を真剣に聞き
より良い方法を一緒に模索してもらうこと
トラブルをきっかけとしたコミュニケーションの積み重ね
がお互いの信頼関係を築くきっかけに

ここに辿り着くには

受診啓発プロジェクトが契機に・・・

あなたの **わ!**しながわと出会ってください。

品川区

H24～ 受診啓発プロジェクト

民間事業者の提案で、健診受診率の向上を目指す、行政・民間・地域協働によるプロジェクトを開始

受診啓発プロジェクト実施体制

行政	民間企業	地域
国保医療年金課 地域活動課 保健センター	【協働事業者】 JTBコミュニケーションズ ルネサンス、クレメンティア 【協力企業】 電通、CSS、法研、大塚製薬 オムロンヘルスケア よしもとクリエイティブエージェンシー	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、栄養士会 健康づくり推進委員会 スポーツ推進委員会 トリム体操連盟 ラジオ体操連盟 商店街連合会



協力団体を**推進メンバー**に認定

➡関係機関との協働のきっかけ

あなたの **わ!**しながわと出会ってください。

品川区

プロジェクトによる波及効果

医師会との関係が大幅に改善

打ち合わせや委員会等の会議が、和やかな雰囲気
で前向きな発言が多い場に

医師会から健診受診率向上に向けた様々な提案が
上がる

トラブルの火消しに理事が協力してくださる

主要な医療機関が健診をやる気に！

あなたの **わ!**しながわ と出会ってください。

品川区

協働で事業を評価・実施する体制へ

・受診啓発プロジェクト

協力機関の施設内にポスター掲示、リーフレット配布

ニュースレターを定期発行し、健診の進捗状況を協力機関に報告

医療従事者向け勉強会を協力機関と共催で開催

・保健指導実施率UPプロジェクト

医療機関より保健指導を直接申し込める体制の構築

区職員による保健指導効果実証実験を実施し、広く周知

・実施計画評価委員会

年1~2回、保健事業の評価を関係機関（医師会、栄養士会、委託事業者等）と有識者と協働で実施

➡協働によるデータヘルス計画の策定へ

あなたの **わ!**しながわ と出会ってください。

品川区

協働によるデータヘルス計画策定

策定委員会（４回）の議論の流れ

1回目

- 現状の保健事業の業務棚卸
- 健康課題の抽出

2回目

- 保健事業の優先順位決定
- 保健事業の具体的方向性の議論

3回目

- 具体的保健事業戦略の議論
- 保健事業の実施計画、評価指標の検討

4回目

- 素案にてデータヘルス計画のストーリーを確認
- 評価指標の妥当性を再確認

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

8

策定委員会運営のポイント

会議の成功は下準備が8割

○ 討議しやすい資料の準備

→参加者が興味を持つような内容を準備し、事前に送付。

○ 事前に委員へ意見を頂きたいポイントを伝えておく

→事前資料のどこを中心に議論するか説明、この点について意見を聞きたいとメールしておく

○ 会議体が多すぎてもまとまらない

→意思決定できる会議であることが重要。

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

議論経過（例）－健康課題の抽出－

性・年齢別に見た医療費の状況

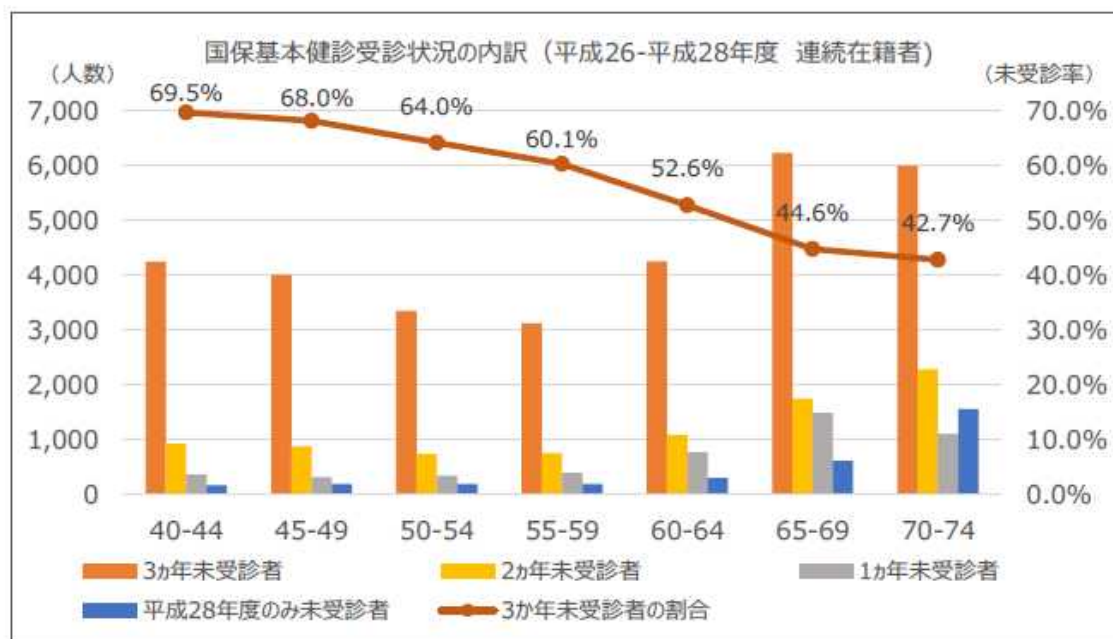
男性（世代別、数字は各世代に占める割合）							女性（世代別、数字は各世代に占める割合）								
各世代の人数比		患者数		医療費		診療日数		各世代の人数比		患者数		医療費		診療日数	
0歳台	5.9%	呼吸器系	29.2%	呼吸器系	43.6%	呼吸器系	51.3%	0歳台	4.4%	呼吸器系	28.1%	呼吸器系	29.3%	呼吸器系	46.1%
10歳台	5.9%	呼吸器系	28.7%	呼吸器系	36.6%	呼吸器系	37.6%	10歳台	4.4%	呼吸器系	26.1%	呼吸器系	29.5%	呼吸器系	31.6%
20歳台	7.7%	呼吸器系	25.9%	精神系	14.0%	呼吸器系	18.2%	20歳台	9.0%	呼吸器系	20.1%	精神系	14.5%	呼吸器系	18.0%
30歳台	12.2%	呼吸器系	24.7%	精神系	18.3%	精神系	21.2%	30歳台	12.6%	呼吸器系	18.1%	精神系	17.0%	精神系	16.7%
40歳台	13.5%	呼吸器系	19.2%	精神系	20.3%	精神系	24.5%	40歳台	13.0%	呼吸器系	17.1%	精神系	19.9%	精神系	19.7%
50歳台	11.5%	呼吸器系	13.8%	循環器系	21.2%	精神系	15.7%	50歳台	11.5%	呼吸器系	13.1%	新生物	14.8%	精神系	15.3%
60歳台	25.1%	循環器系	17.7%	循環器系	23.4%	循環器系	21.2%	60歳台	25.4%	眼系	11.1%	循環器系	17.4%	筋骨格系	18.8%
70歳台	18.2%	循環器系	16.7%	循環器系	26.8%	循環器系	23.0%	70歳台	19.7%	筋骨格系	12.1%	循環器系	18.4%	筋骨格系	25.4%
男性：計	100.0%							女性：計	100.0%						

あなたの **わ！しながわ** と出会ってください。

品川区

議論経過（例）－健康課題の抽出－

3年連続未受診者の状況

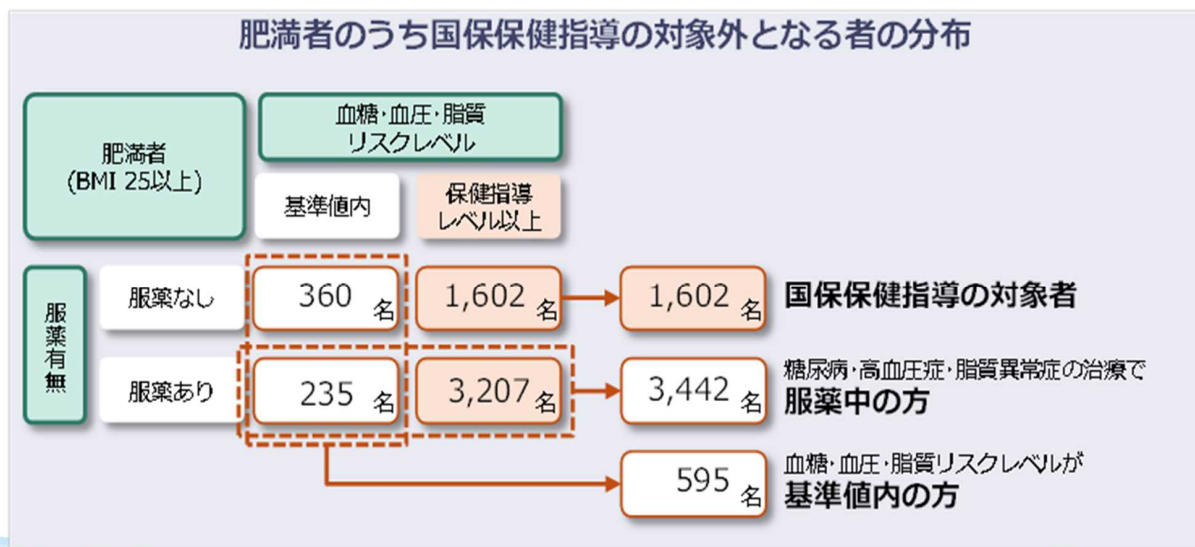


あなたの **わ！しながわ** と出会ってください。

品川区

議論経過（例）－健康課題の抽出－

肥満者とリスクの状況



あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

12

議論経過（例）－健康課題の抽出－

重症化リスクの状況



あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

13

議論経過（例）－健康課題の抽出－

歯科重症化リスクの状況

糖尿病の受診歴がある方の内訳			
	喫煙なし	喫煙あり	不明 (喫煙なし・不明)
歯科受診あり	689 名	135 名	1,405 名
歯科受診なし	554 名	150 名	2,081 名

心疾患の重症化のリスクがある方の内訳			
	喫煙なし	喫煙あり	不明 (喫煙なし・不明)
歯科受診あり	66 名	6 名	142 名
歯科受診なし	34 名	9 名	158 名

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区 14

議論経過－健康課題の明確化－

品川区国保の三大課題

健診受診率の低迷

リスク保持者の増加

重症患者の増加

品川区国保の三大対策

受診率向上対策

軽度リスク者対策

重症化対策

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区 15

議論経過（例）－優先順位と戦略化－

軽度リスク者対策

事業名	優先度	事業の概要
肥満対策	◎	国保保健指導案内の工夫・改善 （利用者の声、健診結果の経年変化の記載等） ※利用勧奨に力を入れる層を明確化し、PRの強化をする。 新規対象者／経年対象者等
	◎	BMI25以上の方に効果的な情報提供を実施
	○	BMI25以上の方にダイエットプログラムの構築
非肥満ハイリスク者対策	△	品川健康センターと連携した非肥満対策等の実施
喫煙対策	○	喫煙者に禁煙外来一覧や禁煙リーフレット等の送付を実施



議論経過（例）－事業計画－

	事業概要	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率向上策	健診受診勧奨(ダイレクトアプローチ)	事業開始	事業継続	事業継続
	未受診者理由の調査	分析実施	事業継続	事業継続
	健診結果説明会	事業開始	事業継続	事業継続
	健診受診啓発プロジェクト			
	↳ 医療機関・歯科医院との連携強化	事業開始	事業継続	事業継続
軽度リスク者対策	↳ 商店街・コンビニ等との連携強化	事業継続	事業継続	事業継続
	↳ 区内イベント等での啓発活動	事業開始	事業継続	事業継続
	↳ 広報キャンペーン・お得キャンペーン	事業開始	事業継続	事業継続
	肥満対策			
	↳ 国保保健指導案内の工夫・改善		事業開始	事業継続
重症化対策	↳ 減量支援の実施		事業開始	事業継続
	↳ ダイエットプログラムの構築			実施調整
	非肥満ハイリスク者対策			実施調整
	喫煙対策			事業開始
	若年層向け対策			
生活習慣病患者	↳ 20歳からの健康診査事業		事業開始	事業継続
	生活習慣病患者歯科受診勧奨		事業開始	事業継続
	生活習慣病医療受診勧奨		事業開始	事業継続
	生活習慣病重症化予防事業		事業開始	事業継続



評価指標(例) -受診率向上対策-

健診受診勧奨 (ダイレクトアプローチ)	【アウトプット】 ◆受診勧奨実施件数 【アウトカム】 ◆健診受診率の向上 平成26年度：39.8%→平成29年度：45.0%
未受診者理由の調査	【アウトプット】 ◆アンケート送付数・回収数
健診結果説明会	【アウトプット】 ◆説明会実施回数・参加者数 【アウトカム】 ◆講演内容の理解度
健診受診啓発プロジェクト	【アウトプット】 ◆協力機関数、ポスター掲示数 ◆イベント実施数・参加者数、キャンペーン件数



評価指標(例) -軽度リスク者対策-

肥満対策	【アウトプット】 ◆国保保健指導実施率の向上 平成26年度：17.4%→平成29年度：25.0% 【アウトカム】 ◆保健指導の改善率・5%体重減少者 平成25年度：18.5%→平成29年度：30.0% ◆メタボの改善率 翌年健診受診者のメタボ改善率 平成26年度：12.5%(23区平均12.8%) →平成29年度：14% 健診受診者全体のメタボ該当率 平成26年度：16.7%(23区平均16.4%) →平成29年度：14% ◆肥満者の減少 体重5%減少者：20.0%
------	---



評価指標（例）－重症化対策－

生活習慣病患者歯科受診勧奨

【アウトプット】

◆実施件数・実施率

【アウトカム】

◆**糖尿病・心疾患患者の歯科未受診者の減少**

平成26年度：2,986名→平成29年度：20%減

◆**事業実施者の歯科受診率**

平成29年度：30%

生活習慣病重症化予防対策

【アウトプット】

◆実施件数・実施率

【アウトカム】

◆**基準該当コントロール不良者の減少**

平成26年度：446名→平成29年度：20%減

◆**事業実施者の改善率(高緊急度からの改善)**

○平成29年度：60%



策定委員会の意義

関係機関内で課題や**アウトカムが明確化・共有化**でき、実態に即した事業計画の策定ができる。

関係機関および有識者と事業評価をすることで、**客観的評価**が可能となり事業改善が進みやすい。

関係機関の意見をもとに保健事業を組み立てることで、当事者意識が育ち、関係機関の**モチベーションもUP**する。

区-事業者だけでなく、**関係機関全体のスムーズな連携**につながる。



策定委員会の成功要因

関係者間でアウトカムが共有化できていた

→アウトカムが共有できなければ協働は進まない

事業計画の根拠となるデータや資料を準備した

→良い資料があると議論が弾む。関係機関の事業への興味がUP

受診啓発プロジェクトで連携基盤ができていたこと

→一緒にやった経験が一度できるとそれ以降はスムーズになる

計画そのものより計画策定のプロセスが大切

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

22

保健事業の実施状況 健診受診率向上対策

新規対象者受診者勧奨（1回） **5,507件**

40歳、前年度途中加入者に受診勧奨ハガキを送付

未受診者勧奨（2回） **計91,890件**

9月・11月に毎年受診者、不定期受診者、3年連続未受診者別に内容を変えた受診勧奨ハガキを送付

[アウトカム]

受診率 H26年39.8%→H28年40.1%

新規受診者 H26年5901名→H28年6480名

40代、50代の受診率、2%UP

未受診者理由調査 **1996件（7.5%）回収**

受診勧奨とあわせて往復はがきで、2万6千件送付

1位 病気で通院中：39%、2位 具合が悪くない：20%、

3位 忙しい：10%



往復はがきで、
未受診理由
調査を実施

あなたの **わ!しながわ** と出会ってください。

品川区

23

保健事業の実施状況 健診受診率向上対策

健診結果説明会 計126名参加（健診前2回、健診後2回）

健診を不定期に受診していて、健診結果が少し悪かった方に対し、毎年受診することの重要さと、生活習慣改善のポイントを伝えるセミナーの実施。

受診啓発プロジェクト

関係機関の区内施設にポスター掲示（924か所）とリーフレット配布（21,470枚）。

ニュースレターを関係機関に定期的に発行

キャラバン隊

課の若手職員でキャラバン隊を組織。区内イベントに6回出陣し、3,392人に啓発物品を配布

早得キャンペーン

5月～8月に受診した方に対し、商店街の割引クーポン券を配布



あなたの **わ!しな**がわと出会ってください。

品川区 24

保健事業の実施状況 軽度リスク者対策

国保保健指導利用勧奨の工夫

各自の健診結果を明記し、対象に合わせたメッセージを組み込む内容に工夫し、加えて電話で利用勧奨をする。 **6月～3月（10回） 1721件**

【アウトカム】

保健指導申込率 H27年17.1%→H28年18.8%
保健指導の脱落率 H26年3%（11名）
→H27年度3%（8名）

減量支援

国保保健指導対象者以外の肥満の方（BMI25以上）に対して、check&actionシートとパンフレットを個別送付

6月～3月（10回） 2661件



あなたの **わ!しな**がわと出会ってください。

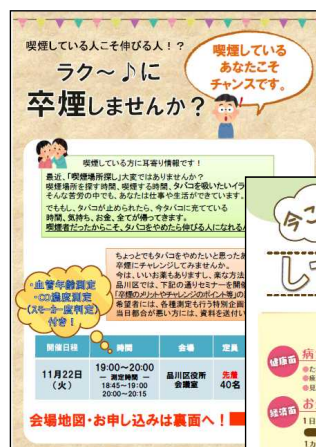
品川区 25

保健事業の実施状況 軽度リスク者対策

喫煙対策

H28～禁煙セミナーモデル実施
(80名応募/2回)

H29～禁煙支援パンフ&禁煙外来マップを
個別送付
(約3千件予定)



若年層向け対策

20歳からの健康診査を実施（健康課） 受診者2257人



保健事業の実施状況 重症化対策

歯科受診勧奨

糖尿病や心疾患で受診履歴があるが、
歯科医院未受診者に
対し歯科受診を勧めるパンフレットを送付。
2回実施（8月2月） 計2,800件送付



生活習慣病未受診者受診勧奨

健診結果から生活習慣病が疑われるが未治療の方へ、
各自のリスクを明確化した通知を送付。
特に高緊急の方には保健師より電話による受診勧奨を実施。
6月～3月（10回） 280件送付
6月～3月 104件に架電（82%受診・14件未受診）



重症化対策

生活習慣病重症化予防事業

生活習慣病で治療中であるにも関わらず、血圧や血中脂質、血糖の健診結果値が重症で、治療以外の保健指導が早急に必要な方に対し、約6ヵ月間の生活改善指導を行う。

H25年度より糖尿病対象で実施⇒H28年度より対象拡大

★紹介方法★

健診結果から受診医療機関ごとに対象者リストを作成
対象者リストを医師会経由で医療機関に配布
対象者リストから医師に紹介をしてもらう。

★利用者数★

H25年度10名、H26年度22名、H27年度19名、
H28年度2名

[illegible]

あなたの **わ!** **しな** **がわ**と出会ってください。

 晶川区

保健事業の評価について

保健事業支援システムを導入



- ・毎月、レセプト・健診結果をアップロードし突合できるシステム
- ・保健事業の対象者の抽出、登録、実施状況の登録等が可能
- ・保健事業の進捗管理や評価が担当者レベルで可能に

計画策定と評価の2年間（H27・28）の委託契約

- ・計画から評価まで一貫して支援が受けられる体制へ

データヘルス計画評価委員会の立ち上げ

- ・協働で継続して、評価の共有と実施事業の改善を図る体制へ

あなたの **わ!** **しな** **がわ**と出会ってください。

 晶川区

連携の仕組みづくりのポイント

関係機関に健診を**自分ゴト化**してもらう仕掛けが必要！

- ・計画策定委員会・評価委員会を開催
- ・医師会内説明会等で、事業や評価を報告
- ・ニュースレターの定期発行
- ・協働でセミナー等イベント実施
- ・医師・医療従事者向け勉強会を開催

➡**実際に会って話す機会**をとにかく持ち続ける



今後の展望と課題

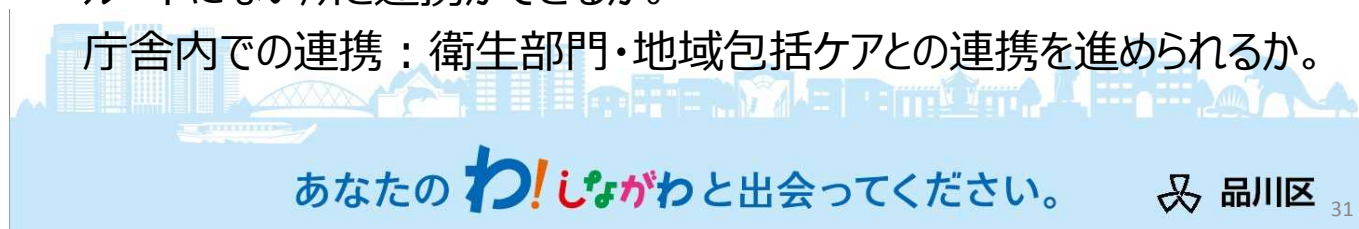
・保健事業の成果を出すこと

事業の実施が目的ではなく、アウトカムの達成が重要
行政だけで成果を出すには限界があり、関係機関との連携が重要
そのためには、事業評価を行い改善につなげていく仕組みが必要

・多機関との連携

保険者協議会、国保連合会、協会けんぽ等と上手く連携ができるか
受診啓発のコンタクトポイントがマンネリ化。コンビニ等今までの行政ルートにない所と連携ができるか。

庁舎内での連携：衛生部門・地域包括ケアとの連携を進められるか。



改訂に向けて策定委員会を開催中

・医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、委託事業者、協会けんぽ東京支部のメンバーを委員に任命

・計画はできても、効果を出すには時間がかかる。データの読み取り方も難しい。

・保健指導の運用の変更・重症化予防の効果的展開等課題は山積み。

➡品川区にはどんな事業展開が有効か、議論盛り上がる



**「健康への投資！」を合言葉に、
品川区ではデータヘルスを推進して参ります**

☆Think globally act locally！☆

